

この学校にわたしたち

2022. 09. 5 N025

苦勞・挫折を乗り越えて…

少し前の話になりますが、6月に阪神タイガースの2人のプロ野球選手の姿に感動しました。1人は湯浅京二投手です。彼は三重県尾鷲市出身で、高校は県外の名門校に入学したものの、高校入学当初から腰痛に悩み、2年間マネジャーを兼務、3年生として最後の夏の甲子園はベンチにも入れなかったそうです。独立リーグから阪神に入団後も、腰椎骨折で2年間登板はなく、自費でリハビリ器具をそろえ、先輩らに学んだそうです。そして、今年の6月24日にプロ入り初勝利を手に入れ、涙を浮かべながらのヒーローインタビューとなりました。2人目は熊谷敬宥選手です。今は、主に試合の終盤に代走や守備固めでの起用ばかりとなっている選手です。この熊谷選手に6月26日の試合の最後の大事な局面で打順が回ってきました。熊谷の執念の一打でチームは今季2度目のサヨナラ勝利を収めることができ、この日も感動的なヒーローインタビューとなりました。とかくスポーツ界を含め、テレビの中の世界は華やかに見え、苦勞や挫折は見えにくいところもありますが、こうやって人一倍苦勞した選手がそれらを乗り越え、結果を出すことができたというニュースは他にもたくさんあると思います。子どもたちもこれから中学生・高校生とすすんでいく中で勉強やスポーツ、人間関係において壁にぶつかったり、悩んだりすることもたくさんあることと思います。私は苦勞した分、挫折して苦しい思いをした分、そういった経験をした子どもには、「頑張っていてよかった」と思ってほしいと思います。そのためにも、苦しい時、こういった選手のことを思い出して、逆境に対して勇敢に立ち向かえる子どもたちであってほしいと思います。私たち親も教師も子どもたちのよき手本となるべく、立ち向う生き方をしていきたいと思いました。

夏休みの奉仕作業有難うございました！

日中の気温が40℃を超える日が何にか続いて運動場の草はいやまして成長を続けています。運動場が草原のようになってきておりましたが、多数ご参加いただき、きれいに除草していただきまして誠に有難うございました！



▲湯浅投手 ▼熊谷選手

